

土づくりの専門家を目指そう！

# 土壌医検定

## 2024年度 受験案内



福井県立福井農林高等学校のみなさん

### 検定試験日

# 2025年2月9日

1級

2級

3級

土壌医検定のホームページ <http://doiken.or.jp/>

主催：一般財団法人 日本土壌協会

後援：農林水産省

全国農業協同組合中央会 全国農業協同組合連合会 全国農業大学校協議会  
全国農業高等学校長協会 日本園芸農業協同組合連合会 日本生活協同組合連合会  
一般社団法人全国肥料商連合会 土壌医の会全国協議会 全国土壌改良資材協議会

## 試験日・申込期間・申込方法

### [試験日] 2025年2月9日(日)

- ▶ 試験開始時間：午後2時からを予定
- ▶ 各級同時刻に実施のため併願はできません
- ▶ 合格発表予定日：2025年3月26日(水)

### [申込期間]

2024年11月1日(金)～12月11日(水)  
※郵送の場合は当日の消印有効

### [申込方法]

インターネット申込または受験願書の郵送

## 受験料

- ◆ 1級：11,000円 ※受験料は消費税を含みます
- ◆ 2級：6,600円 3級は生徒割引の設定があり、
- ◆ 3級：5,500円 高校生10名以上の団体は生徒1名あたり2,970円になります

## 試験実施場所

以下の試験会場(エリア)を予定しています

- ① 札幌会場(札幌市内)
- ② 仙台会場(仙台市内)
- ③ 東京会場(都内)
- ④ 福井会場(福井市内)
- ⑤ 名古屋会場(名古屋市内)
- ⑥ 大阪会場(大阪市内)
- ⑦ 岡山会場(岡山市内)
- ⑧ 福岡会場(福岡市内)
- ⑨ 沖縄会場(那覇市内)
- ⑩ 帯広会場(帯広市内)
- ⑪ 網走会場(網走市内)
- ⑫ 秋田会場(秋田市内)
- ⑬ 山形会場(鶴岡市内)
- ⑭ 栃木会場(宇都宮市内) ※2024年度新設会場
- ⑮ 群馬会場(高崎市内)
- ⑯ 埼玉会場(埼玉県内)
- ⑰ 千葉会場(千葉県内)
- ⑱ 長野会場(長野県内)
- ⑲ 静岡会場(静岡市内)
- ⑳ 新潟会場(長岡市内)
- ㉑ 島根会場(松江市内)
- ㉒ 広島会場(東広島市内) ※2024年度新設会場
- ㉓ 愛媛会場(松山市内)
- ㉔ 高知会場(高知市内)
- ㉕ 大分会場(豊後大野市内)

- 今後の状況により、上記の会場(エリア)は変更される場合や会場数が増減する場合があります。
- 会場施設については、10月以降に土壌医検定のホームページまたは試験案内に掲載します。
- ㉑～㉕の会場では1級受験はできません。

## 研修会のご案内

土壌医検定研修会は、試験に出題されやすい重要項目を研修会で配布する専用テキストに記載し、重点的に説明します。また、過去に出題された主な問題の紹介とその解説も行います。

- お申込みや詳細は土壌医検定のホームページをご覧ください。

### 主に受験者を対象とした土壌医検定研修会

対象	地区	日程	会場
1級レベル	東京	11月21日(木) 11月22日(金)	会議室 内海
2級・3級レベル	札幌	12月2日(月) 12月3日(火)	道特会館
	東京	11月9日(土) 11月10日(日)	東京農業大学
	大阪	10月17日(木) 10月18日(金)	ドーンセンター
	福岡	10月24日(木) 10月25日(金)	福岡朝日ビル

受講料：1級レベル 22,000円 2級・3級レベル 13,200円(連続受講 22,000円)

- ◆ 1級レベルは2日間で1セットです。2級・3級レベルについては日程の1日目が3級レベル、2日目が2級レベルとなっています。
- ◆ 2級・3級レベル研修会はweb配信も予定しています。

※農林水産省「みどりの食料システム戦略推進交付金」の都道府県実施計画に本研修会が盛り込まれている場合は、参加費が助成対象となります。

## 参考書のご案内

土壌医検定試験の参考書を発行しています。試験問題は、これらの参考書から出題されます。

- ご購入や詳細は土壌医検定のホームページをご覧ください。

書籍名	対象	価格	備考
土壌診断と対策	1級用	4,730円	
土壌診断と作物生育改善	2級用	4,180円	
土づくりの作物生産	3級用	2,530円	
土壌医検定試験 既出問題集	既出問題集	2,090円	2018-2020
土壌医検定試験 既出問題集	既出問題集	今夏刊行予定	2021-2023

## お問合せ先 土壌医検定事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-54 英光ビル3階  
一般財団法人 日本土壌協会内  
TEL 03-3292-7281 FAX 03-3219-1646

土壌医検定

検索

## 土壌医検定とは

最近、地力の低下、土壌病害の発生等や生産コストの低減が課題となっており、土壌診断に基づく土づくりの推進が重要となっています。

しかし、近年、こうした課題に対応できる土づくりの専門家が少なくなってきており、こうした人材を育成するため、土壌医検定試験を行っています。

試験の名称は、土壌を診断し、処方箋を出す専門家という内容から見て『土壌の医者』と言えることから「土壌医検定試験」と命名しております。

試験合格後は、当協会へ登録していただくことにより「土壌医」等の資格の名称が使えます。

## 資格登録と登録後の活動

### 資格登録のメリット

- 名刺等に資格名を掲載することが可能
- 農林水産省のwebサイト「土づくり専門家リスト」への掲載を推薦※1
- 各種研修会等の参加費が割引
- 資格登録者間のネットワークが拡大※2

※1 原則、当会では1級合格の資格登録者のみを推薦しています。

※2 資格登録者は現在約4,000名おり、これらの方を中心に「土壌医の会」が結成されています。(2024.5現在 40土壌医の会) 土壌医の会では研修会、土づくり普及のための活動等を行っており、仲間を募集しています。

### 合格者から寄せられた声(抜粋)

- 資格取得に向けた学習の中で、収量を落とさずに肥料コストを下げることができました。(農場経営者)
- 作物や土壌の知識を得られたことにより、営農指導にも幅が出たと感じました。(農協職員)
- 社内でも資格試験が浸透し、土壌用語が分かるので栽培のコミュニケーションがとりやすくなりました。(農業法人代表)

合格者から寄せられた声を下記webサイトで紹介しています。

<https://soil-doctor.net/voice>



## 資格と技術レベル

資格名	検定試験	レベル
土壌医	土壌医検定1級	土づくりについて高度な知識・技術を有し、また、5年以上の指導実績又は就農し土づくりに取り組んできた実績を有する者で、処方箋作成とともに施肥改善、作物生育等改善の指導ができるレベルにある者。
土づくりマスター	土壌医検定2級	土づくりに関し、やや高度な知識・技術を有するとともに、土壌診断の処方箋を作成できるレベルにある者。
土づくりアドバイザー	土壌医検定3級	土づくりに関する基礎的な知識・技術を有し、土づくりアドバイザーとして対応できるレベルにある者。

● 資格名は、試験合格後の登録申請(任意)により付与します。登録料が別途必要です。

## 試験区分と試験内容

区分	1級	2級	3級
試験回数	年1回	年1回	年1回
試験方法	学科試験・記述試験・業績レポート	学科試験	学科試験
受験資格	土づくり指導又は 就農実績5年以上	問わない	問わない
出題範囲	2級レベルの知識に加え、作物生育との関係での土壌診断と対策(処方箋)の指導ができる知識と実績 〔土壌化学性・物理性・生物性と農作物の安定生産・品質向上対策、栽培環境の変化と土づくり対策、環境負荷軽減を目指した土づくり対策等〕	3級レベルの知識に加え、施肥改善の処方箋が作成できる知識 〔作物生育と化学性・物理性・生物性の診断と対策、肥料・土壌改良資材・堆肥の種類と特色、主要作物の栽培特性と土壌管理、土壌診断の種類と進め方等〕	土づくりと作物生育との関係の基礎知識 〔作物の健全な生育と土壌環境、作物生育と土壌化学性・物理性・生物性との関連、土壌管理・施肥管理、主要作物の施肥特性、土壌診断の内容と進め方等〕
学科試験 問題数	① マークシート方式 4者択一 50問(配点50点) ② 記述方式(配点25点) ③ 業績レポート(配点25点)	60問	50問
解答方式		マークシート方式 4者択一	マークシート方式 3者択一
合格目標	100点中70点以上 ただし、「業績レポート」が20点以上に達していなければ、全体で70点以上でも不合格とする	60問中40問以上正解	50問中30問以上正解